

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

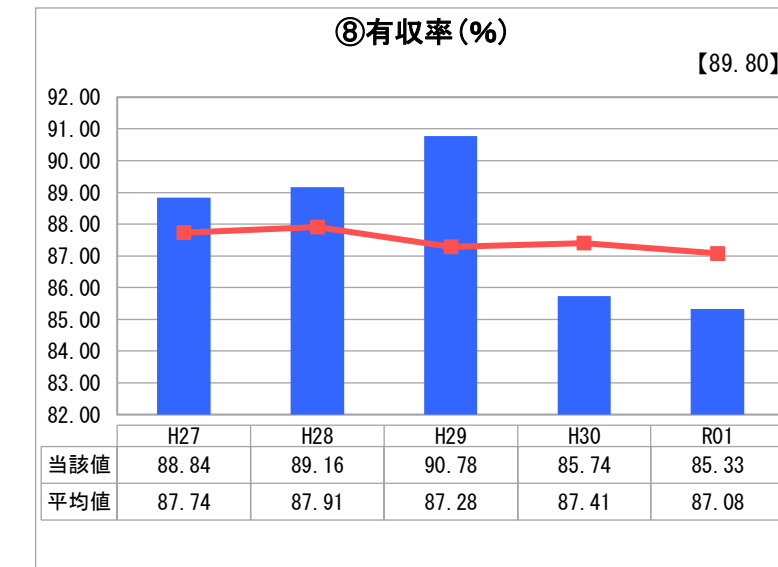
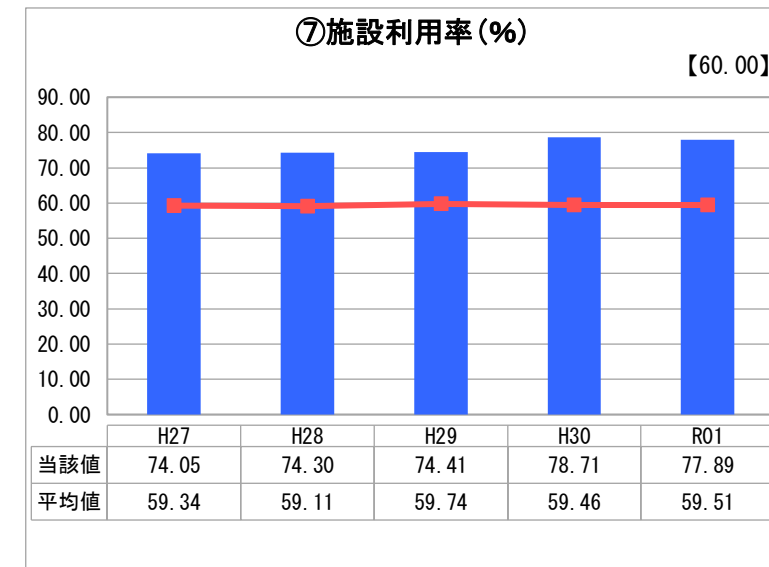
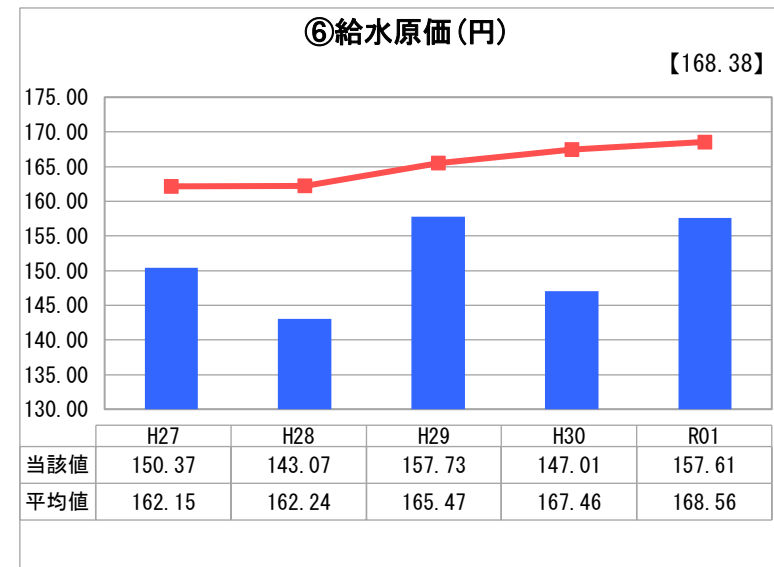
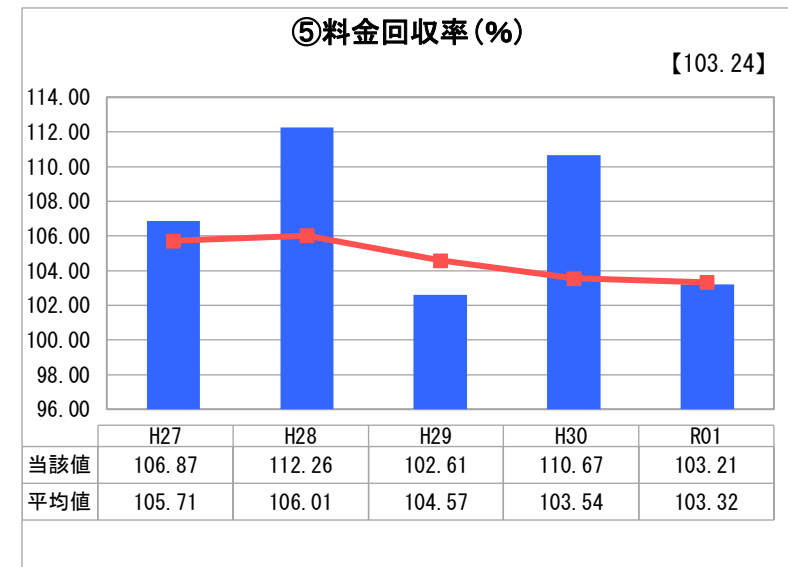
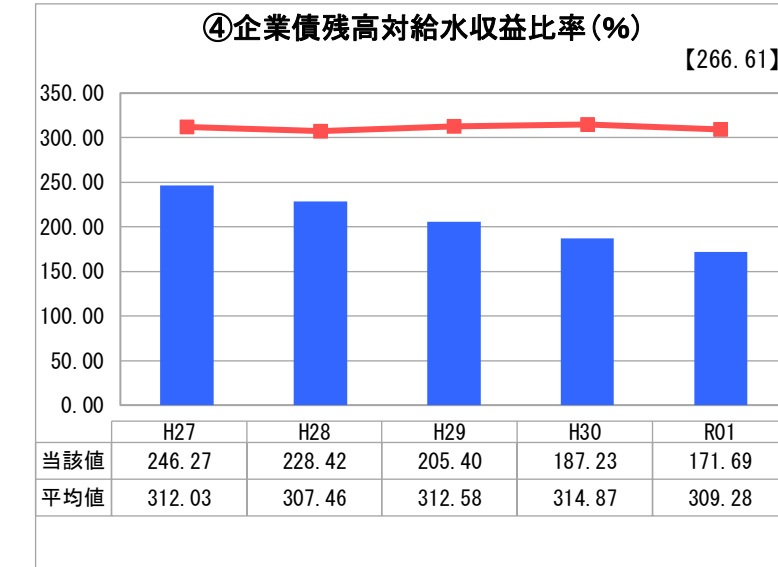
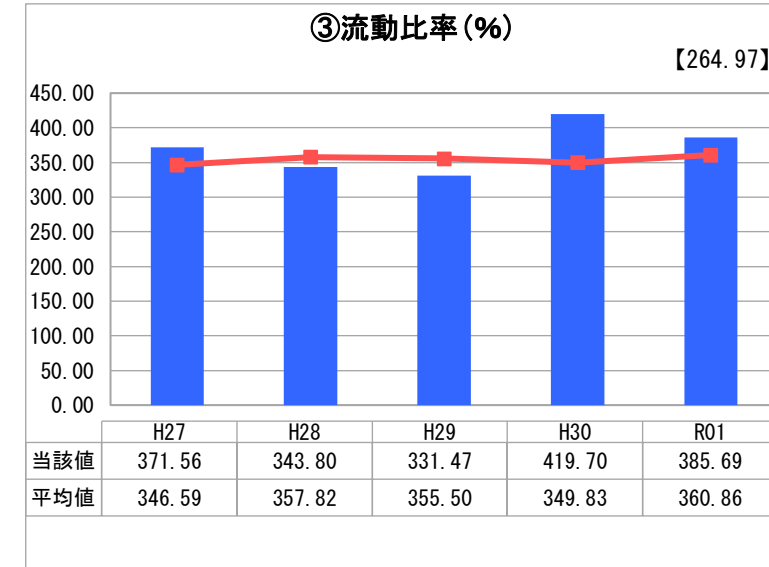
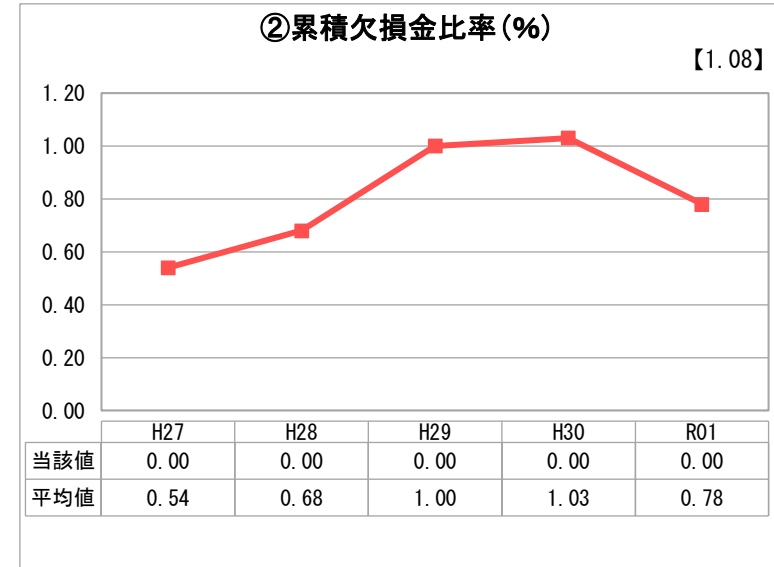
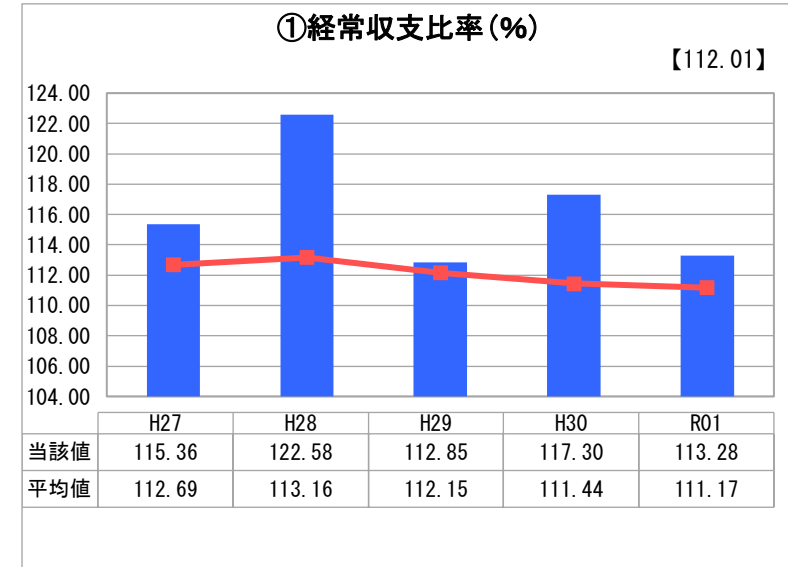
埼玉県 白岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	79.28	99.73	2,783	

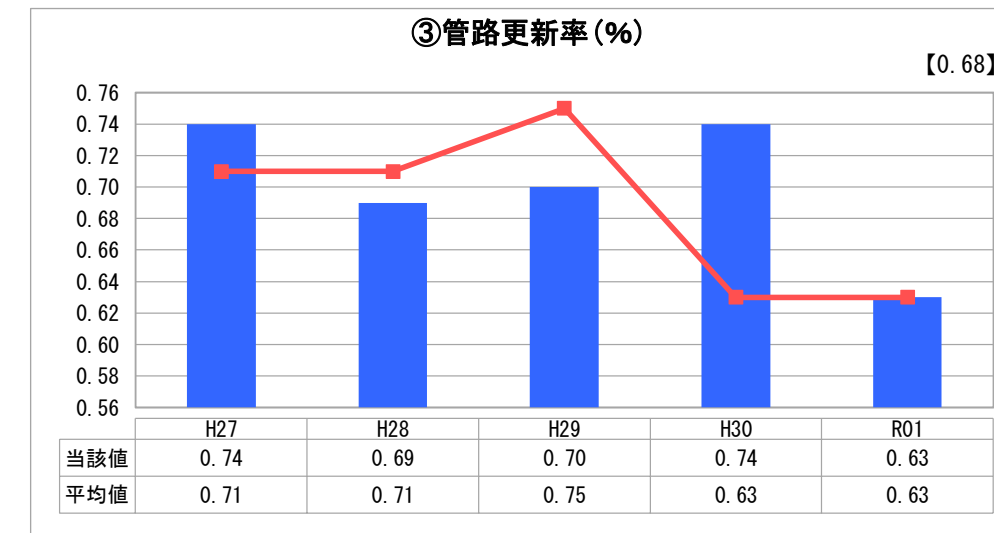
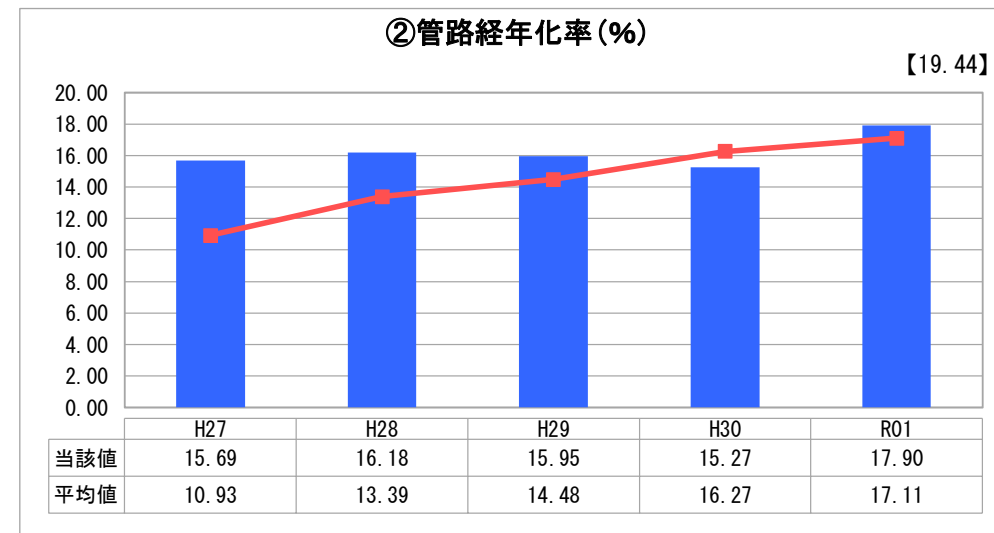
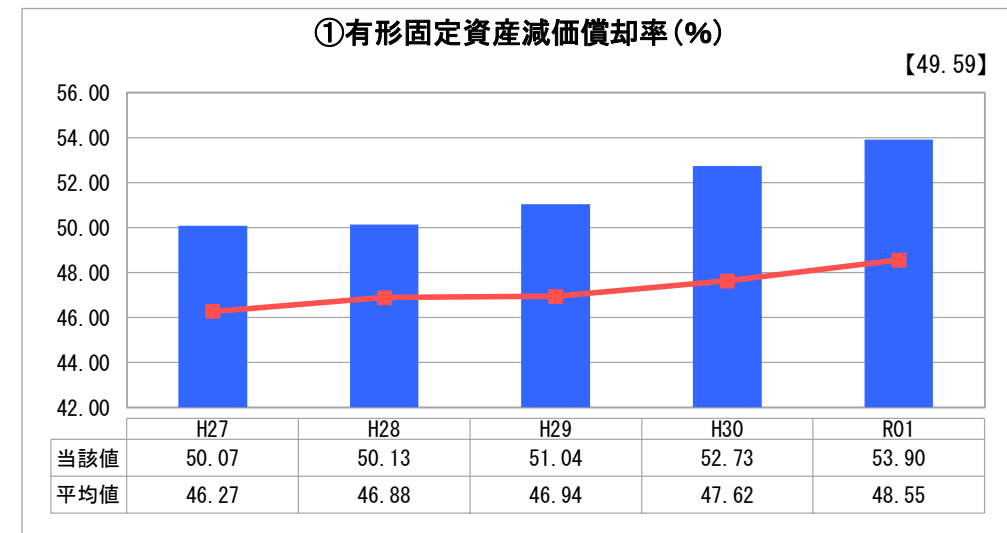
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
52,404	24.92	2,102.89
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
52,275	24.92	2,097.71

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本年度は、高岩浄水場の急速ろ過機ろ材交換工事の実施に伴い受水費が増加したことにより、⑥給水原価が増加し、①経常収支比率及び⑤料金回収率が減少した。

経営については6年連続で「①経常収支比率」が100%を超え、「②累積欠損金比率」が0%であり、「③流動比率」は100%を上回り、類似団体平均と同等の水準を維持している。「⑦施設利用率」も類似団体や全国平均よりも良い状態で推移している。しかしながら、管路や機械設備の更新により「④企業債残高対給水収益比率」が今後上昇することが考えられる。

また、「⑧有収率」は洗管作業が増加したため、前年度に比べ低くなり、また、将来見込まれる人口減少や節水機器の普及等による節水意識の高まりにより今後とも低くなることが予想され、給水収益の増加は見込むことができない。

これらのことから、漏水の減少に努め有収率を向上させるとともに、今後は人口水準を見極めつつ、料金の見直しを含む経営改善を検討する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」が右肩上がりでも推移し、「②管路経年化率」が高い水準で留まっていることから、施設や管路の更新の必要性が高い。また、「③管路更新率」は平均水準で当該年度に管路等を計画的に更新できたと言えるが、前年度と比較して低下しており、今後更新のペースを上げていく必要がある。

### 全体総括

経営については健全性を保っているものの、施設の老朽化が進行し、更新するための経費が増加することが見込まれる。一方、給水収益の増加は見込めないため、適切な施設更新とそれに対する財源確保を示した投資・財政計画（経営戦略）を基に、健全な経営に努めていく必要がある。